

冬によく使う用語（その1）

1 はじめに

気がつけば身の回りの木々は葉を落とし、日に日に寒さが厳しくなり、テレビ等のニュースでも冬の話が賑わうようになりました。

…ところで、突然ですが、“冬”っていつ頃を指すのでしょうか？

…天気予報などで雪の情報のとき耳にする“降水量”と“降雪量”の違い、ご存知ですか？

…案外、答えにつまる『冬の気象用語』もあるのではと思います。そこで、『あおもりゆきだより』では、これからの季節によく使う『気象用語』を2回にわたって紹介していきます。

初めて聞く用語、意味を誤解していた用語もあるかも？…ぜひチェックしてみてください！

2 よく使う用語

【寒候期】

寒い天候の期間と書いて、『寒候期』。具体的には、特に断りがない限り前年の10月から当年の3月までの期間を表わす統計用語です。この期間は年をまたぐので、「〇〇年寒候期」と言った場合、1月を含むほうの年を〇〇に入れて表現します。では、いま現在の寒候期は？…正解は、2010年の1月を含むので、「2010年の寒候期」となります。

【冬】

予報用語で出てくる『冬』は、前年の12月から当年の2月までの期間を指します。このため、いま現在の冬もやはり、「2010年の冬」となります。ちなみに、『春』は3～5月、『夏』は6～8月、『秋』は9～11月で、3ヶ月ごとに区切られています。

【平年値】

「累年の統計」の一つで、西暦年の一の位が1の年から数えて30年間の値を平均した値です。10年ごとに更新され、現在の平年値は1971年から2000年までの平均です。

【初冠雪】

山の頂上付近が積雪で白く見えることを『冠雪』と言い、夏が終わったあと山麓の気象台から初めて冠雪を確認できたときを、その山の『初冠雪』といいます。

青森地方気象台では、「八甲田山」と「岩木山」について初冠雪の統計を取っています。

【初霜】

気象庁における『初霜』とは、上記の寒候期に入って初めておりた霜のことを指します。ただし、初霜がおりる前に積雪状態になってしまうと、霜の観測ができないので、その年の初霜は欠測となります。青森の初霜の平年値は、10月23日です。

【初雪】

気象庁における『初雪』とは、上記の寒候期に入って初めて降る雪またはみぞれのことを指します。つまり、雨が混じっていても『初雪』になり得ます。青森の『初雪』の平年値は、11月7日です。

【根雪】

冬の期間中、積もった雪が長い時間消えずに残る状態を『根雪』と言います。気象庁の統計用語では『積雪の長期継続時間』または『長期積雪（略称）』と呼んでいます。求め方には条件があり、例えば「30日以上継続」といった状態が必要になります。

【降水量】

水や氷が大気中を落下する現象、または落下したものを『降水』と言い、これらが地表の水平面に達した深さをmm単位で測ったものを『降水量』と呼びます。つまり、雨も雪も、どちらも降水現象です。雪や氷の場合、完全に溶けた水状態での量で計測します。

【降雪量】

一定時間に新たに積もった雪の深さのことで、気象庁では『降雪の深さ』と呼びます。ただし、実際に観測しているのは毎正時の雪の深さ（こちらを『積雪の深さ』と呼びます）で、その1時間前の観測値との差をcm単位で測ったものを『降雪の深さ』としています。つまり、一行目の一定時間とは、特に断りがない限り「1時間当たり」を指します。

【日降雪量】

一日24回毎正時に観測される『降雪の深さ』を、1時から24時まで足したものが『日降雪量』です。あるいは、そのまま『降雪の深さの日合計値』とも呼びます。青森県内では、むつで日降雪量92cmという記録があります。…一日で、92cm！

【累積降雪量】

『累積降雪量』は、その冬に初雪が降ったときからの『降雪の深さ』を全て合計した値です。その冬を通した『累積降雪量』を、『降雪の深さ寒候年合計』といいます。簡単に言えば、その冬に降った雪の量です。青森市の『降雪の深さ寒候年合計』は、平年値で774cm、最大で1263cmです。

【最深積雪】

ある期間内における**毎正時の『積雪の深さ』**の中で、**もっとも深かったときの値**を言います。ある期間が「1日」なら『**日最深積雪**』、「1ヶ月」なら『**月最深積雪**』となります。青森市の「年間」における『**最深積雪**』は、平年値で114cm、最大で209cmです。

【積雪計】

『**積雪の深さ**』を自動で測るための**機器**のことですが、気象庁では主に**超音波や光**を使って積雪の深さを測る『**積雪計**』を用いています。高い位置から地面に向かって超音波やレーザー光を発射し、雪面で反射してまた戻ってくるまでの時間などを計ることで積雪の深さを求めます。青森地方気象台には、光を使った『**積雪計**』が設置されています。

【雪尺】

『**積雪の深さ**』を人間の目で見て測るための『**ものさし(尺)**』のことを『**雪尺**』と言います。標準的なものは、真っ直ぐ鉛直に立てられた白い柱で、1cm単位の目盛りが付いています。青森地方気象台ではで3mの高さまで目盛りがついています。『**積雪計**』が故障した時は『**雪尺**』を利用します。

(次回、「よく使う用語(その2)」に続きます)

(この原稿作成 技術課 田村)



国土交通省

国土交通省 気象庁 青森地方気象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411



気象庁

気象庁ホームページ: <http://www.jma.go.jp>

青森地方気象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/aomori/>